

# 平成22年度 県内市町村普通会計決算見込みの状況

<平成22年度全国市町村普通会計決算の数値は、総務省速報数値であり、今後変動する場合がある。>

平成23年10月31日  
高知県総務部市町村振興課

## 目次

1. 総括	1
○各市町村別決算収支の状況	2
2. 決算収支の状況	3
3. 財政構造	3
○経常収支比率・実質公債費比率の推移	4
4. 歳入の状況	5
5. 歳出の状況	8
(1) 性質別決算の状況	8
(2) 目的別決算の状況	11
6. 積立金現在高の状況	12
7. 地方債現在高の状況	15
8. 将来負担額等の状況	16
9. 今後に向けて	16
○各種財政指標市町村別一覧表	17
○財政指標等の説明	19

## 1. 総括

平成22年度県内市町村の普通会計の歳入歳出決算規模は、「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設など「実質的な地方交付税」の増(1,647億円、対前年度129億円増、8.5%[全国17.6%増])や国の経済対策による交付金活用事業などの増により、歳入4,355億円(前年度4,250億円、前年度比2.5%増、全国市町村平均0.6%増)、歳出4,231億円(前年度4,148億円、前年度比2.0%増、全国市町村平均0.2%増)と、歳入・歳出ともに3年連続の増加となっている。

「実質収支」の黒字は、79億30百万円(前年度56億67百万円の黒字)と、前年度より22億63百万円(39.9%増)の大幅増となり、全ての団体で黒字となった。

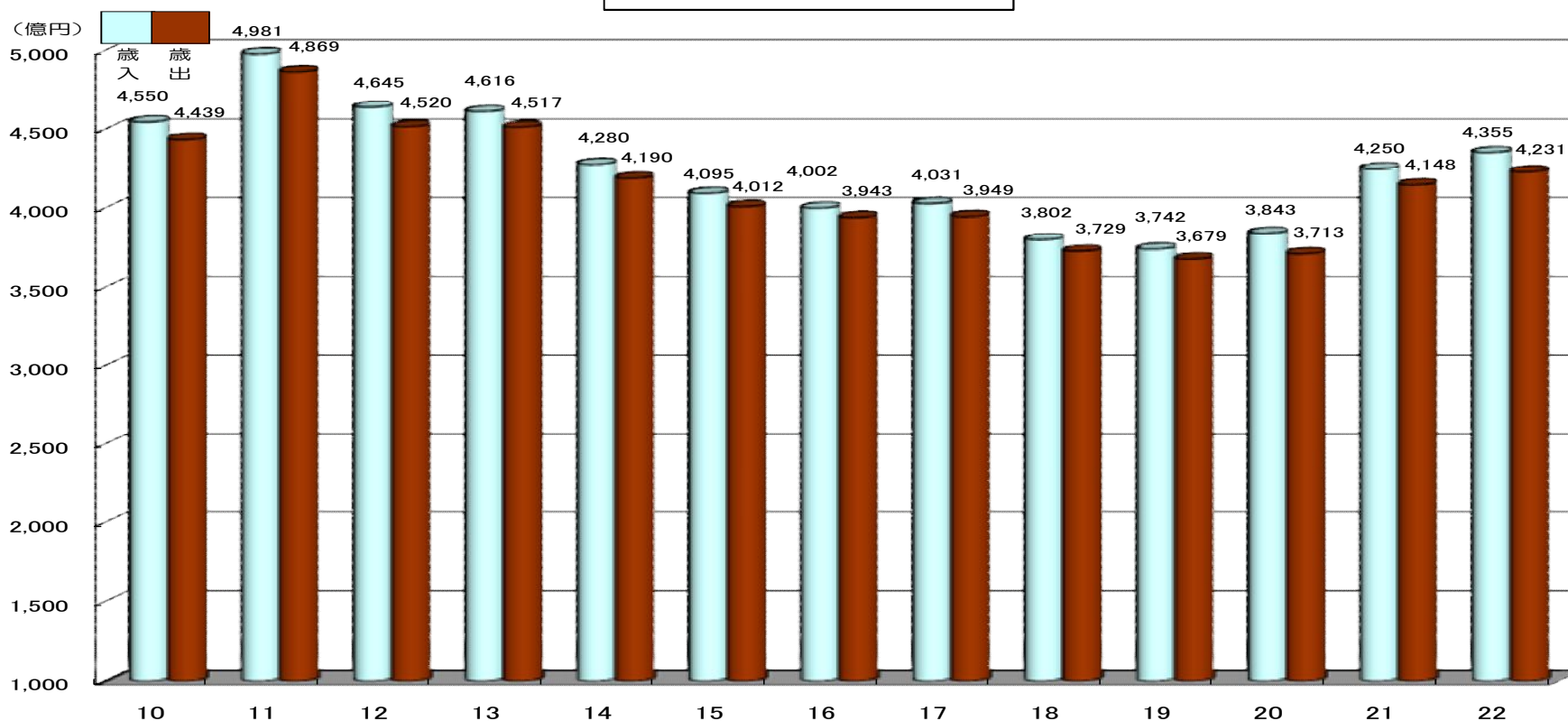
「実質単年度収支」は、前年度より17億23百万円と大幅に増加し、107億21百万円(前年度89億97百万円の黒字)となった。なお、赤字の団体は3団体(前年度4団体)となっている。

「経常収支比率」は、前年度から3.7ポイント改善し86.8%となり、全国市町村の平均89.2%を下回っている。

「実質公債費比率」は、前年度から0.9ポイント改善し16.5%となったが、全国市町村の平均10.5%を上回っている。

「積立金現在高」は、年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金や公債費の償還を計画的に行うための減債基金の積み立て増などによって、1,229億32百万円となり、6年連続の増加となっている。

歳入歳出決算規模の推移





## 2. 決算収支の状況

歳入歳出差引(「形式収支」)は、124億56百万円の黒字で、この「形式収支」から翌年度に繰り越すべき財源45億26百万円を控除した「実質収支」は79億30百万円の黒字となった。また、「実質収支」から前年度の「実質収支」を差し引いた「単年度収支」は、22億63百万円(前年度11億14百万円の増)の黒字となっている。

財政調整基金への積立金と地方債の繰上償還額を加算し、財政調整基金の取崩額を差し引いた「実質単年度収支」は、107億21百万円(前年度比17億23百万円の増)の黒字となっている。

「実質収支」は、全ての団体で黒字となった。なお、「単年度収支」が赤字団体は11団体(前年度14団体)、「実質単年度収支」が赤字の団体は3団体(前年度4団体)となっている。

### 決算収支の状況

(単位百万円<全国は億円>、%)

区 分	平成22年度		平成21年度		H22年度全国			
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率		
歳入総額 A	435,523	10,491	2.5	425,032	40,703	10.6	2,964	0.6
歳出総額 B	423,067	8,217	2.0	414,849	43,547	11.7	1,130	0.2
歳入歳出差引 C(A-B)	12,456	2,273	22.3	10,183	▲2,844	▲21.8	1,835	12.7
繰り越すべき財源 D	4,526	10	0.2	4,516	▲3,999	▲47.0		
実質収支 E(C-D)	7,930	2,263	39.9	5,667	1,155	25.6	1,257	11.5
単年度収支 F	2,263	1,114	96.9	1,149	1,050	1,059.0	▲371	-
財政調整基金積立額 G	3,424	869	34.0	2,555	▲82	▲3.1		
財政調整基金取崩額 H	470	30	6.7	441	▲56	▲11.2		
繰上償還額 I	5,504	▲230	▲4.0	5,734	2,184	61.5		
実質単年度収支 (F+G-H+I)	10,721	1,723	19.2	8,997	3,207	55.4	3,699	145.3

※表示単位未満を四捨五入しているため計算が一致しない箇所がある。

※増減率は千円単位の数値で算出。

## 3. 財政構造

「経常収支比率」は、算定式において分子となる扶助費が子ども手当創設により増加するとともに、分母では地方税や地方譲与税が減少したが、地方交付税と臨時財政対策債の「実質的な地方交付税」が大幅に増加したことに伴い改善している。100%を超える団体は0団体(前年度1団体)となり、比率が前年度を上回る団体は1団体(前年度6団体)となった。県全体では、前年度から3.7ポイント改善し86.8%となり、全国平均の89.2%を2.4ポイント下回ることとなった。

「財政力指数」は、0.25(3ヶ年・単純平均)となり、前年度0.26とほぼ横ばいである。

「実質公債費比率」は、0.9ポイント改善されたが、全国平均をまだ6.0ポイント上回っている。地方債発行に県の許可が必要となる18.0%以上の団体は8団体(前年度11団体)となっている。

なお、「実質公債費比率」が「早期健全化基準」の25%を超える団体は、前年度に続き0団体である。

### 財政指数の状況

(財政力指数を除き、単位%)

	22年度		21年度		全国市町村決算			
		対前年度		対前年度	22年度	増減	21年度	増減
経常収支比率	86.8	▲3.7	90.5	▲1.6	89.2	▲2.6	91.8	0.0
人件費	22.6	▲1.6	24.2	▲0.6				
物件費	8.5	▲0.5	9.0	0.0				
維持補修費	0.7	0.0	0.7	0.0				
扶助費	10.1	0.5	9.6	0.2				
補助費等	8.2	▲0.4	8.6	0.3				
公債費	24.8	▲1.6	26.4	▲1.5				
繰出金等	11.8	▲0.3	12.1	0.1				
財政力指数	0.25	▲0.01	0.26	0.00	0.53	▲0.02	0.55	▲0.01
実質公債費比率	16.5	▲0.9	17.4	▲0.8	10.5	▲0.7	11.2	▲0.6

(注)比率は加重平均。財政力指数は単純平均。

# 市町村別経常収支比率・実質公債費比率の推移

(単位:%)

市町村名	経常収支比率								実質公債費比率(3力年平均)			
	H22				H21				H22		H21	
	増減		うち人件費充当		増減		うち人件費充当		増減		増減	
高知市	90.0	△ 2.4	19.7	△ 1.6	92.4	△ 0.9	21.3	△ 0.8	19.2	0.0	19.2	△ 0.2
室戸市	95.5	△ 5.5	25.5	△ 3.0	101.0	0.4	28.5	△ 2.8	19.5	0.9	18.6	1.0
安芸市	86.4	△ 3.2	25.5	△ 0.1	89.6	△ 5.5	25.6	0.8	21.0	△ 3.5	24.5	△ 3.1
南国市	86.7	△ 6.0	26.2	△ 1.3	92.7	△ 0.3	27.5	0.5	16.3	△ 2.0	18.3	△ 1.6
土佐市	85.2	△ 2.2	27.5	△ 3.1	87.4	3.1	30.6	1.8	10.2	0.0	10.2	△ 0.4
須崎市	91.2	△ 5.7	23.3	△ 2.1	96.9	△ 1.8	25.4	1.3	21.0	△ 1.5	22.5	△ 1.0
宿毛市	86.5	△ 4.1	25.4	△ 2.0	90.6	△ 3.1	27.4	△ 0.5	19.5	△ 0.7	20.2	△ 0.3
土佐清水市	89.5	△ 2.5	28.7	0.4	92.0	△ 1.1	28.2	△ 3.4	18.4	△ 0.9	19.3	△ 0.8
四万十市	88.6	△ 4.6	25.0	△ 2.7	93.2	1.1	27.7	1.4	17.0	△ 0.4	17.4	△ 0.7
香南市	84.3	△ 6.8	25.1	△ 2.3	91.1	△ 3.7	27.4	△ 1.3	18.4	△ 1.5	19.9	0.4
香美市	88.2	△ 1.5	28.5	△ 0.8	89.7	△ 3.4	29.3	△ 1.2	13.1	△ 1.2	14.3	△ 1.0
東洋町	92.0	△ 2.3	22.5	△ 3.0	94.3	0.0	25.5	0.6	14.3	△ 3.0	17.3	△ 1.4
奈半利町	88.2	△ 3.9	21.5	0.2	92.1	△ 2.1	21.3	△ 0.9	12.8	△ 3.0	15.8	△ 2.9
田野町	78.3	△ 6.1	15.3	△ 2.3	84.4	3.5	17.6	△ 1.0	7.4	△ 4.1	11.5	△ 3.8
安田町	80.6	△ 14.2	20.8	△ 2.1	94.8	0.0	22.9	△ 2.2	17.8	△ 2.4	20.2	0.1
北川村	80.4	△ 7.2	22.2	△ 1.8	87.6	△ 3.7	24.0	△ 3.8	9.6	△ 1.7	11.3	△ 1.1
馬路村	76.0	△ 7.2	21.5	△ 2.2	83.2	△ 5.3	23.7	△ 4.2	10.9	△ 1.6	12.5	△ 2.4
芸西村	78.5	△ 9.3	20.2	△ 3.4	87.8	△ 0.6	23.6	0.3	13.7	0.4	13.3	△ 0.2
本山町	81.9	△ 6.8	23.6	△ 1.0	88.7	△ 3.9	24.6	△ 1.4	15.6	△ 2.4	18.0	△ 2.2
大豊町	84.5	△ 2.9	23.1	0.6	87.4	0.6	22.5	0.7	12.2	1.9	10.3	1.1
土佐町	80.7	△ 4.4	24.4	△ 1.7	85.1	△ 1.8	26.1	0.4	12.7	△ 1.6	14.3	△ 3.0
大川村	84.7	△ 7.9	26.5	△ 4.3	92.6	3.6	30.8	0.5	10.7	△ 2.2	12.9	△ 2.6
いの町	90.9	0.3	22.7	△ 0.1	90.6	△ 2.6	22.8	△ 0.7	15.7	△ 1.6	17.3	△ 1.2
仁淀川町	74.9	△ 5.7	21.9	△ 0.5	80.6	△ 6.3	22.4	△ 1.6	10.6	△ 2.8	13.4	△ 2.3
中土佐町	83.8	△ 3.5	24.6	△ 2.7	87.3	△ 7.7	27.3	△ 2.6	11.6	△ 2.3	13.9	△ 1.1
佐川町	86.0	△ 2.7	19.3	△ 0.6	88.7	△ 1.8	19.9	0.1	15.8	△ 0.6	16.4	△ 0.3
越知町	84.6	△ 5.3	24.4	△ 1.1	89.9	△ 3.4	25.5	△ 0.1	11.7	△ 2.5	14.2	△ 1.9
橋原町	64.9	△ 2.1	12.6	△ 0.6	67.0	△ 1.9	13.2	△ 0.8	6.8	△ 1.2	8.0	△ 2.0
日高村	82.2	△ 3.6	21.2	△ 2.1	85.8	△ 4.5	23.3	△ 1.3	13.3	△ 2.7	16.0	△ 2.8
津野町	65.4	△ 4.1	17.8	△ 0.6	69.5	△ 3.3	18.4	△ 1.0	2.5	△ 2.8	5.3	△ 3.5
四万十町	83.4	△ 4.9	22.3	△ 1.6	88.3	△ 1.7	23.9	△ 1.1	14.0	△ 2.1	16.1	△ 1.4
大月町	84.1	△ 2.7	26.3	△ 0.9	86.8	△ 2.7	27.2	△ 2.9	12.6	△ 0.6	13.2	△ 1.1
三原村	82.8	△ 7.1	25.7	△ 1.9	89.9	△ 4.8	27.6	0.7	18.5	△ 2.4	20.9	△ 1.6
黒潮町	83.6	△ 5.8	25.8	△ 3.4	89.4	△ 2.3	29.2	△ 1.0	12.5	△ 0.5	13.0	△ 0.6
市計	88.9	△ 3.4	22.8	△ 1.7	92.3	△ 1.2	24.5	△ 0.5	18.1	△ 0.6	18.7	△ 0.5
町村計	81.8	△ 4.3	22.0	△ 1.3	86.1	△ 2.6	23.3	△ 1.0	12.5	△ 1.7	14.2	△ 1.5
県計	86.8	△ 3.7	22.6	△ 1.6	90.5	△ 1.6	24.2	△ 0.6	16.5	△ 0.9	17.4	△ 0.8

## <経常収支比率の推移>

(単位%)

	15	16	17	18	19	20	21	22
市部	94.2	95.9	93.8	94.2	95.6	93.5	92.3	88.9
町村部	90.1	93.9	92.1	91.7	90.5	88.7	86.1	81.8
合計	92.5	95.1	93.3	93.5	94.2	92.1	90.5	86.8
全国	87.4	90.5	90.2	90.3	92.0	91.8	91.8	89.2

	15	16	17	18	19	20	21	22
~69.9%					1	1	2	2
~79.9%	1	1	2	2	1	1		4
~89.9%	22	8	4	4	6	9	19	23
~99.9%	25	31	26	28	24	22	12	5
100%~	5	8	3	1	2	1	1	
合計	53	48	35	35	34	34	34	34

## <実質公債費比率の推移>

(単位%)

	18	19	20	21	22
市部	19.6	19.2	19.2	18.7	18.1
町村部	17.2	16.7	15.7	14.2	12.5
合計	18.9	18.5	18.2	17.4	16.5
全国	15.1	12.3	11.8	11.2	10.5

	18	19	20	21	22
~17.9%	17	16	19	23	26
18.0%~	18	18	15	11	8
合計	35	34	34	34	34

#### 4. 歳入の状況

(単位百万円、%)

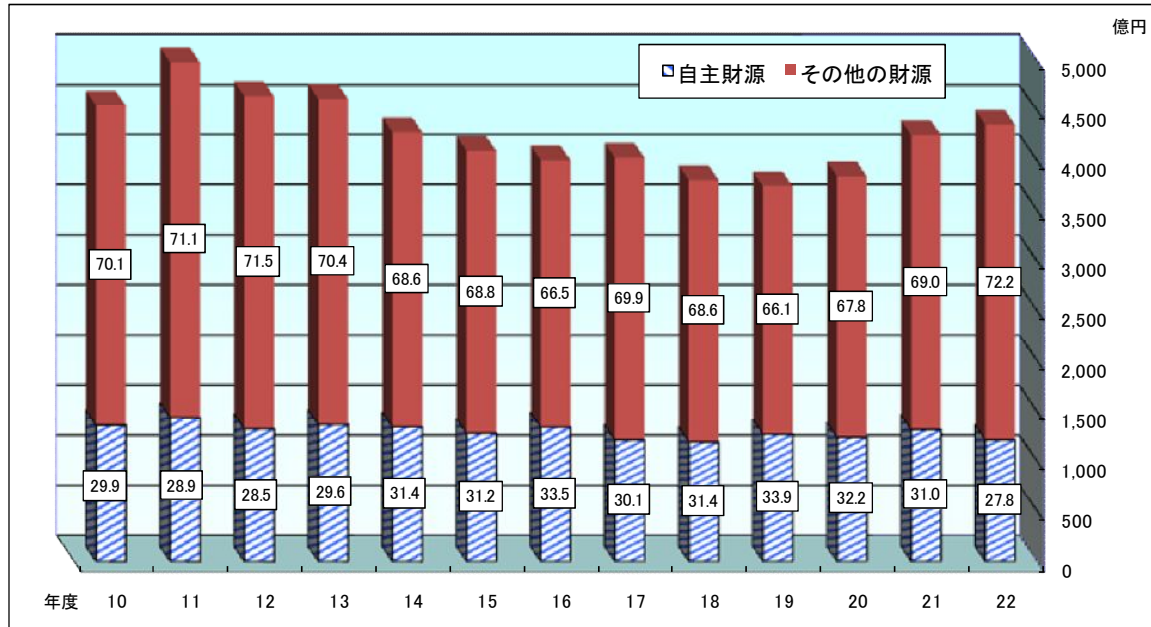
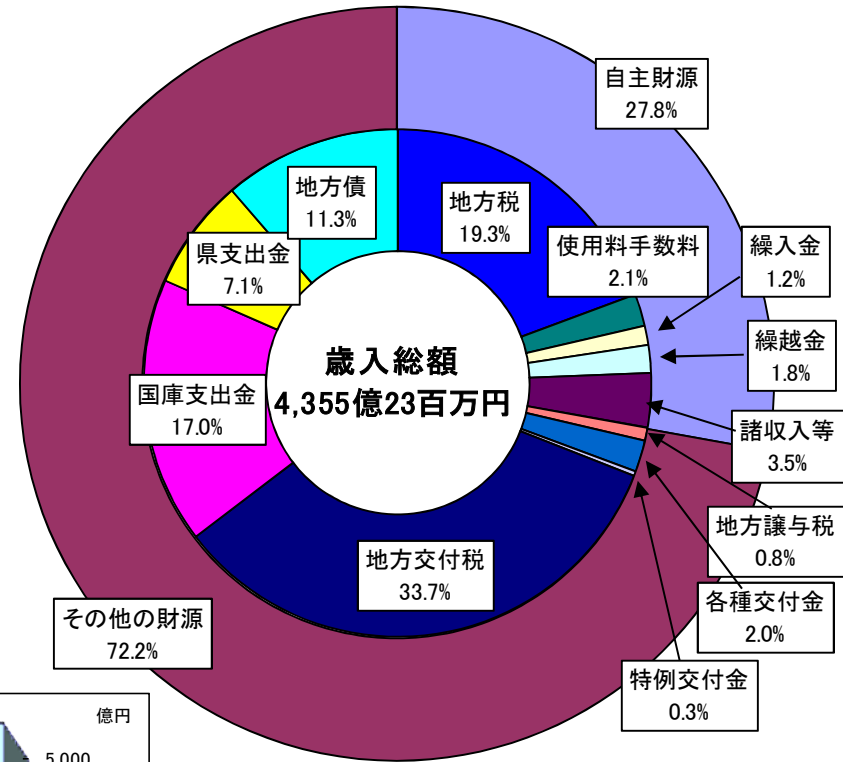
	平成22年度				平成21年度					
	決算額	構成比	増減額	増減率	全国決算		決算額	構成比	増減額	増減率
					構成比	増減率				
地方税①	84,160	19.3	▲ 1,265	▲ 1.5	34.5	▲ 1.6	85,425	20.1	▲ 3,332	▲ 3.8
地方譲与税②	3,592	0.8	▲ 67	▲ 1.8	0.9	▲ 2.1	3,659	0.9	▲ 179	▲ 4.7
地方特例交付金等③	1,236	0.3	223	22.0	0.4	▲ 7.9	1,013	0.2	71	7.5
地方交付税④	146,611	33.7	8,321	6.0	15.8	10.4	138,290	32.5	3,328	2.5
各種交付金⑤	8,686	2.0	▲ 116	▲ 1.3	3.2	▲ 1.1	8,802	2.1	▲ 282	▲ 3.1
使用料・手数料	8,945	2.1	▲ 28	▲ 0.3			8,973	2.1	▲ 213	▲ 2.3
国庫支出金	73,854	17.0	862	1.2	14.8	▲ 3.2	72,992	17.2	21,258	41.1
県支出金	30,818	7.1	3,581	13.1	5.6	14.6	27,236	6.4	5,181	23.5
繰入金	5,365	1.2	▲ 1,544	▲ 22.3			6,909	1.6	1,620	30.6
うち財政調整基金	470	0.1	29	6.6			441	0.1	▲ 56	▲ 11.2
うち減債基金	1,198	0.3	▲ 1,426	▲ 54.3			2,624	0.6	800	43.8
繰越金	7,693	1.8	▲ 3,514	▲ 31.4			11,207	2.6	6,582	142.3
地方債	49,351	11.3	7,973	19.3	9.6	11.1	41,378	9.7	3,585	9.5
うち臨時財政対策債⑥	18,106	4.2	4,587	33.9	4.6	51.1	13,519	3.2	4,809	55.2
その他	15,208	3.5	▲ 3,939	▲ 20.6			19,147	4.5	3,085	19.2
歳入合計	435,523	100.0	10,491	2.5	100.0	0.6	425,032	100.0	40,703	10.6
自主財源	121,237	27.8	▲ 10,424	▲ 7.9			131,661	31.0	7,742	6.2
その他の財源	314,286	72.2	20,915	7.1			293,371	69.0	32,961	12.7
(一般財源)①+②+③+④+⑤	244,285	56.1	7,096	3.0	54.8	1.6	237,189	55.8	▲ 394	▲ 0.2
<参考>①+②+③+④+⑥	253,705	58.3	11,799	4.9	56.3	4.6	241,906	56.9	4,697	2.0

(注1) 各数値は原則として表示単位未満を四捨五入しているが、合計数値を四捨五入した数値を基本としているため、個別の数値は必ずしも四捨五入数値と一致していない場合がある。

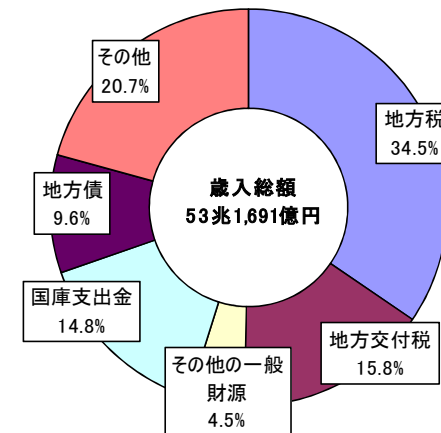
(注2) 地方特例交付金等とは、児童手当及び子ども手当特例交付金(21年度は児童手当特例交付金)、減収補てん特例交付金、特別交付金の額。

(注3) 各種交付金とは、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、特別地方消費税交付金、自動車取得税交付金、軽油引取税交付金、交通安全対策特別交付金の額。

平成22年度県内市町村普通会計決算歳入構成比



平成22年度全国市町村普通会計決算歳入構成比



市町村別徴収率の状況

①地方税

地方税は、景気低迷の影響による市町村民税や固定資産税などで軒並み減少しており、厳しい状況となっている。

前年度に対する全体の増減率は、全国市町村と同様マイナスとなっている。

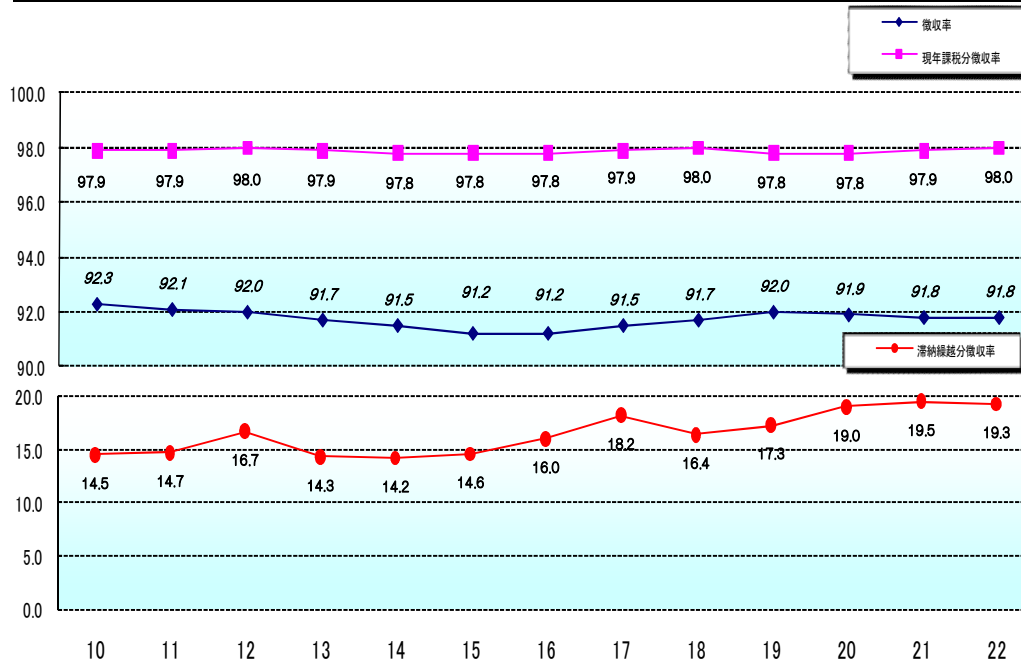
県内市町村では、住民税(個人分)が、14億36百万円減(4.9%減)、住民税(法人分)は2億30百万円増(4.0%増)。固定資産税は、地価下落等の影響により2億9百万円減(0.5%減)となり、市町村税全体では12億65百万円減(1.5%減)となっている。

徴収率は、現年課税分98.0%(前年度97.9%)、滞納繰越分19.3%(前年度19.5%)となり、全体で91.8%(前年度91.8%)であり、横ばいである。

市町村税の状況

(単位百万円 %)

	平成22年度				平成21年度			
	決算額	増減額	増減率	全国増減率	決算額	増減率	全国増減率	
地方税	84,160	▲1,265	▲1.5	▲1.6	85,425	▲3.8	▲4.5	
うち住民税(個人分)	27,986	▲1,436	▲4.9	▲7.5	29,422	▲2.8	▲1.3	
うち住民税(法人分)	5,976	230	4.0	10.0	5,745	▲19.5	▲35.5	
うち固定資産税	42,574	▲209	▲0.5	1.0	42,783	▲2.2	▲0.0	



	徴収率 (%)								
	現年徴収率	滞納徴収率	合計徴収率	前年度 現年徴収率	前年度 滞納徴収率	前年度 合計徴収率	増減		
							現年分	滞納分	合計
高知市	98.1	19.8	92.8	98.1	20.9	92.8	0.0	▲1.1	0.0
室戸市	97.0	19.9	82.2	96.4	11.6	80.1	0.6	8.3	2.1
安芸市	98.6	23.1	94.7	98.3	26.9	94.5	0.3	▲3.8	0.2
南国市	97.9	18.6	91.9	97.8	20.1	92.0	0.1	▲1.5	▲0.1
土佐市	97.3	9.4	83.4	96.8	10.0	83.9	0.5	▲0.6	▲0.5
須崎市	98.2	32.9	94.5	98.0	28.1	94.0	0.2	4.8	0.5
宿毛市	96.8	17.7	86.6	96.4	15.8	85.9	0.4	1.9	0.7
土佐清水市	95.1	19.0	84.7	95.9	13.5	85.6	▲0.8	5.5	▲0.9
四万十市	97.4	18.5	87.7	97.3	20.3	87.1	0.1	▲1.8	0.6
香南市	97.4	18.9	91.2	97.3	20.2	91.2	0.1	▲1.3	0.0
香美市	97.9	14.9	89.6	97.7	15.6	89.8	0.2	▲0.7	▲0.2
東洋町	95.4	9.2	76.2	94.8	16.9	77.3	0.6	▲7.7	▲1.1
奈半利町	97.2	15.2	88.8	97.1	16.0	88.7	0.1	▲0.8	0.1
田野町	98.3	25.1	93.9	98.2	18.1	93.7	0.1	7.0	0.2
安田町	98.2	19.4	92.8	98.2	19.0	93.1	0.0	0.4	▲0.3
北川村	99.5	20.4	98.7	99.6	54.8	99.0	▲0.1	▲34.4	▲0.3
馬路村	99.9	3.3	98.6	100.0	5.3	98.3	▲0.1	▲2.0	0.3
芸西村	98.7	19.3	93.6	98.3	18.2	92.8	0.4	1.1	0.8
本山町	98.7	26.8	95.2	98.5	30.5	95.1	0.2	▲3.7	0.1
大豊町	98.6	25.0	94.6	98.4	25.1	94.1	0.2	▲0.1	0.5
土佐町	98.9	27.6	95.7	98.6	20.2	95.0	0.3	7.4	0.7
大川村	99.8	2.1	98.0	99.8	3.9	98.2	0.0	▲1.8	▲0.2
いの町	99.4	32.5	97.7	99.1	30.3	97.3	0.3	2.2	0.4
仁淀川町	99.4	23.2	98.2	99.4	25.5	98.4	0.0	▲2.3	▲0.2
中土佐町	98.0	30.3	94.4	98.2	29.0	94.1	▲0.2	1.3	0.3
佐川町	97.2	25.3	90.8	97.0	22.0	90.8	0.2	3.3	0.0
越知町	98.5	20.5	94.1	98.6	15.6	94.3	▲0.1	4.9	▲0.2
禰原町	99.7	20.1	98.0	99.5	17.6	97.9	0.2	2.5	0.1
日高村	98.4	17.3	94.4	98.6	28.2	95.0	▲0.2	▲10.9	▲0.6
津野町	98.7	18.2	94.2	98.5	26.2	94.5	0.2	▲8.0	▲0.3
四万十町	97.9	20.5	91.2	97.8	24.8	91.2	0.1	▲4.3	0.0
大月町	96.8	18.1	87.2	96.2	14.6	86.4	0.6	3.5	0.8
三原村	97.2	20.8	87.5	97.3	15.1	86.3	▲0.1	5.7	1.2
黒潮町	98.1	27.7	92.9	97.8	21.7	92.1	0.3	6.0	0.8
市計	97.9	18.9	91.5	97.8	19.2	91.4	0.1	▲0.3	0.1
町村計	98.5	22.5	93.9	98.3	22.6	93.7	0.2	▲0.1	0.2
市町村計	98.0	19.3	91.8	97.9	19.5	91.8	0.1	▲0.2	0.0



## ②地方譲与税

地方譲与税は、自動車重量譲与税の減少などにより、全体で67百万円減(1.8%減)となっている。

地方譲与税の状況

(単位百万円 %)

	平成22年度			全国増減率	平成21年度		
	決算額	増減額	増減率		決算額	増減率	全国増減率
地方譲与税	3,592	▲67	▲1.8	▲2.1	3,659	▲4.7	▲5.9
うち自動車重量譲与税	2,494	▲132	▲5.0		2,625	▲8.4	

## ③地方交付税

地方税収の伸びが鈍化するなかで、「地域活性化・雇用等臨時特例費」(9,850億円)が別枠加算され、総額が1.1兆円増額となったことにより、全国市町村の地方交付税額は7,900億円増(10.4%増)となり、臨時財政対策債を含めた「実質的な地方交付税」の総額は1兆6,245億円増(17.6%増)となった。

県内市町村の普通交付税は、総額への別枠加算や財政力の弱い団体への配慮による影響などにより、75億円増(6.1%増)、特別交付税は8億20百万円増(5.5%増)となり、地方交付税全体で83億21百万円増(6.0%増)となっている。「実質的な地方交付税額」は129億7百万円増(8.5%増)となっている。

## ④国庫支出金

「児童手当及び子ども手当交付金」が67億33百万円増(328.6%増)、普通建設事業費支出金が68億39百万円増(51.9%増)となる一方、定額給付金事業の終了により、全体では8億62百万円増(1.2%増)となった。

## ⑤県支出金

国庫財源を伴う県支出金が22億10百万円増(13.7%増)、県費のみのものが13億72百万円増(12.3%増)。

全体では35億81百万円増(13.1%増)している。

## ⑥繰入金

高知市の減債基金の取崩額が19億56百万円減(皆減)となったことから、全体では16億89百万円減(25.8%減)となっている。

内訳は、財政調整基金30百万円増(6.7%増)、減債基金14億26百万円減(54.3%減)、その他特定目的基金2億93百万円減(8.4%減)となっている。

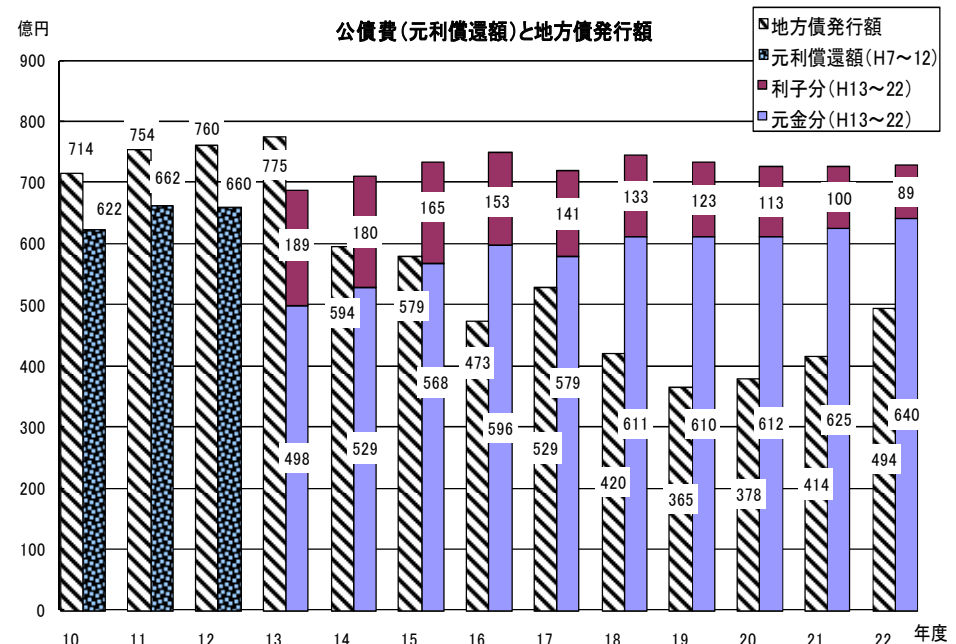
基金繰入金の状況

(単位百万円、%)

	22年度決算額			21年度決算額			増減額・増減率					
	市部	町村部	合計	市部	町村部	合計	市部		町村部		合計	
							増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
財政調整基金	27	443	470	156	285	441	▲129	▲82.6	158	55.7	30	6.7
減債基金	30	1,168	1,198	2,304	320	2,624	▲2,274	▲98.7	848	265.1	▲1,426	▲54.3
その他特定目的基金	1,733	1,468	3,201	1,708	1,786	3,494	25	1.5	▲318	▲17.8	▲293	▲8.4
合計	1,790	3,079	4,869	4,168	2,391	6,559	▲2,378	▲57.0	688	28.8	▲1,689	▲25.8

## ⑦地方債

臨時財政対策債が45億86百万円増(33.9%増)、過疎対策事業債が28億89百万円増(45.8%増)、教育・福祉施設等整備事業債が15億80百万円増(86.6%増)となり、全体では79億73百万円増(19.3%増)の493億51百万円となっている。



## 5. 歳出の状況

### (1) 性質別決算の状況

性質別決算額一覧表

(単位百万円、%)

	平成22年度				全国決算		平成21年度			
	決算額	構成比	増減額	増減率	構成比	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	213,909	50.6	7,948	3.9	48.5	7.3	205,962	49.6	3,143	1.5
人件費	65,788	15.6	▲ 3,320	▲ 4.8	17.1	▲ 2.5	69,108	16.7	166	0.2
うち職員給	42,067	9.9	▲ 1,949	▲ 4.4			44,016	10.6	▲ 1,892	▲ 4.1
うち退職金	8,185	1.9	▲ 1,875	▲ 18.6			10,060	2.4	1,187	13.4
扶助費	75,260	17.8	10,946	17.0	19.8	24.7	64,313	15.5	2,963	4.8
公債費	72,861	17.2	321	0.4	11.6	▲ 1.4	72,540	17.5	14	0.0
投資的経費	74,556	17.6	5,939	8.7	13.7	▲ 2.1	68,617	16.5	15,713	29.7
普通建設事業費	72,861	17.2	5,960	8.9	13.5	▲ 2.4	66,901	16.1	16,600	33.0
うち補助事業	38,281	9.0	14,274	59.5	5.5	6.8	24,007	5.8	4,214	21.3
うち単独事業	32,362	7.6	▲ 7,933	▲ 19.7	7.5	▲ 7.4	40,296	9.7	12,108	43.0
その他	134,601	31.8	▲ 5,669	▲ 4.0	37.9	▲ 6.9	140,270	33.8	24,692	21.4
うち物件費	38,605	9.1	1,171	3.1	11.8	0.6	37,434	9.0	4,482	13.6
うち補助費等	37,700	8.9	▲ 5,493	▲ 12.7	8.9	▲ 30.6	43,192	10.4	15,047	53.5
うち積立金	14,131	3.3	▲ 2,070	▲ 12.8	2.9	48.3	16,201	3.9	5,434	50.5
うち繰出金	38,036	9.0	1,118	3.0			36,918	8.9	396	1.1
歳出合計	423,067	100.0	8,217	2.0	100.0	0.2	414,849	100.0	43,547	11.7

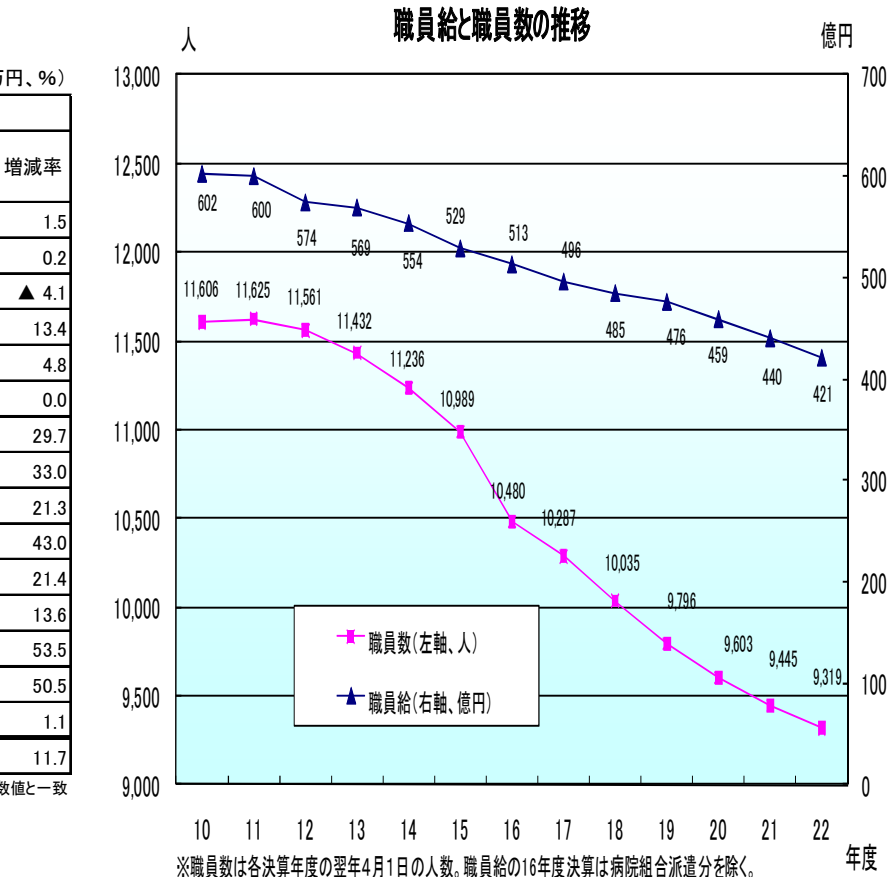
(注)各数値は原則として表示単位未満を四捨五入しているが、合計数値を四捨五入した数値を基本としているため、個別の数値は必ずしも四捨五入数値と一致していない場合がある。

#### ① 義務的経費

人件費は33億20百万円減(4.8%減)、扶助費が109億46百万円増(17.0%増)、公債費は3億21百万円増(0.4%増)となり、全体では79億48百万円増(3.9%増)となっている。

人件費については、33億20百万円減(4.8%減)。採用抑制や給与カット等により、職員給が19億49百万円減(4.4%減)となり、退職者数の減により、退職金が18億75百万円減(18.6%減)となっている。

なお、平成23年4月1日現在の職員数は、前年より126人減の9,319人となっている。また、ピーク時の平成12年4月1日と比較して、2,306人減(19.8%減)となっている。



扶助費については、子ども手当の創設に伴い、児童福祉費が73億25百万円増(20.3%増)となり、生活保護費が22億26百万円増(7.8%増)等の影響により、全体では109億46百万円増(17.0%増)となっている。

公債費については、繰上償還の実施等により、全体で3億21百万円増(0.4%増)となっている。

新規発行債の抑制と公的資金補償金免除繰上償還の活用により、全体的に返済額は圧縮され、全体的に減少傾向である。

## ②投資的経費

普通建設事業費は、全体では59億60百万円増(8.9%増)となっており、3年連続の増となった。前年度比プラスの団体は23団体(6団体減)、マイナスの団体は、11団体(6団体増)となっている。

補助事業費は、全体で142億74百万円増(59.5%増)となっている。総務費が85億95百万円増(204.8%増)、教育費が53億77百万円増(84.5%増)となっている。

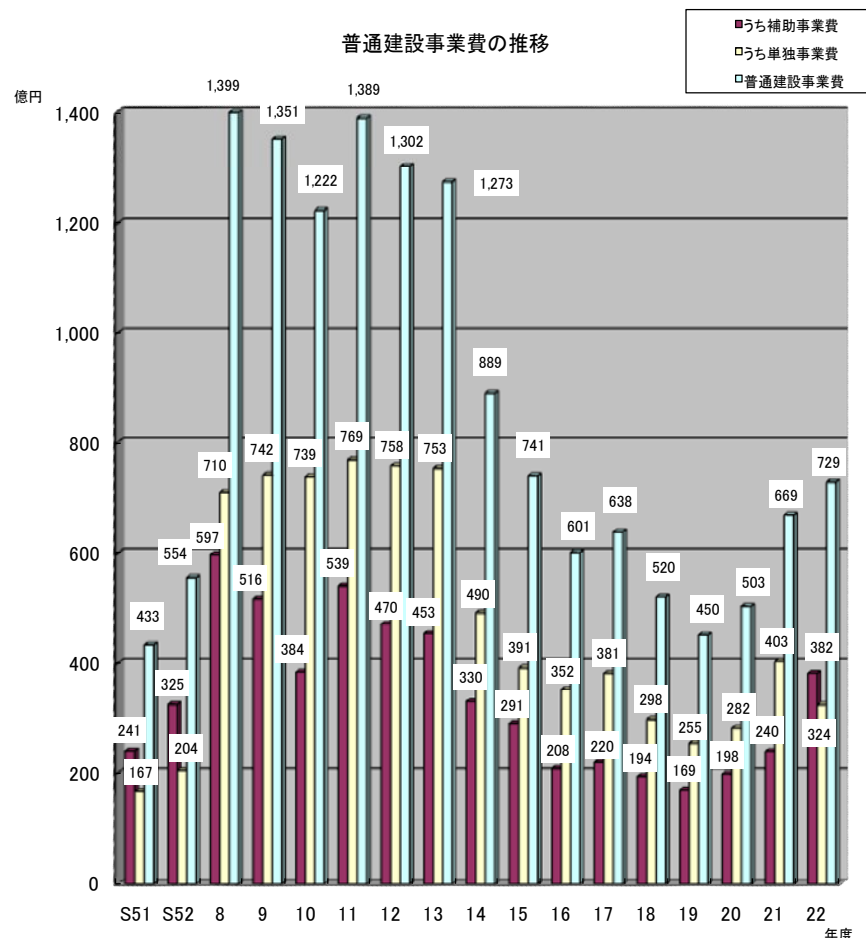
単独事業費は、全体で79億33百万円減(19.7%減)となっている。衛生費が32億7百万円減(72.5%減)、農林水産業費14億81百万円減(23.6%減)、土木費が26億41百万円減(18.0%減)となっている。

## ③その他の経費

補助費等は、定額給付金事業終了などにより、54億93百万円減(12.7%減)となっている。

積立金は、市部では財政調整基金は70百万円増(7.2%増)、減債基金25億51百万円減(84.6%減)、その他特定目的基金19億71百万円減(39.9%減)。

町村部では、財政調整基金8億円増(50.2%増)、減債基金60百万円減(3.1%減)、その他特定目的基金16億43百万円増(43.9%増)となっているが、市部の大幅な減による影響により、全体では20億70百万円減(12.8%減)となっている。



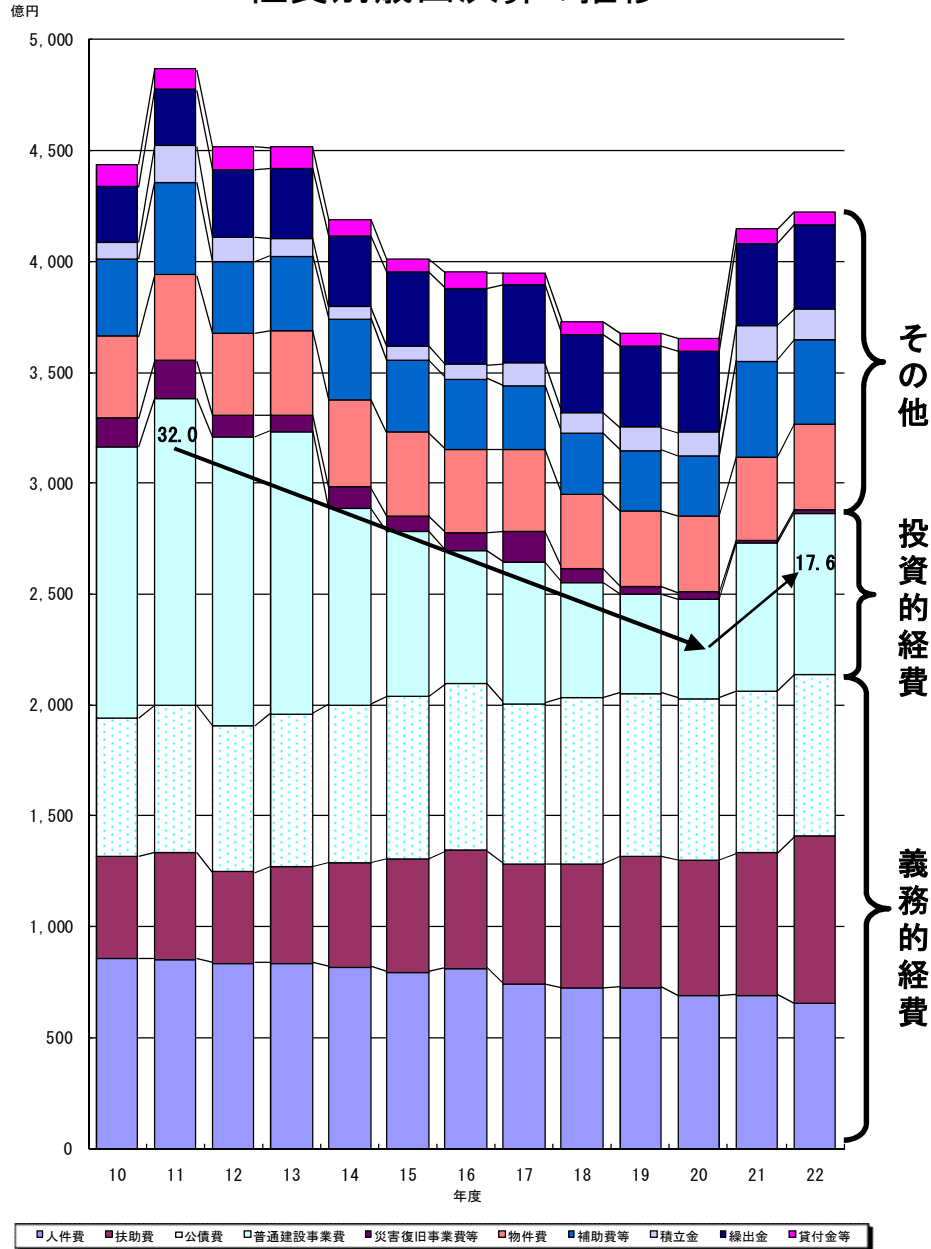
(注)補助事業費には受託事業費の内補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費の内の単独事業費を含む。

## 積立金決算額一覧表

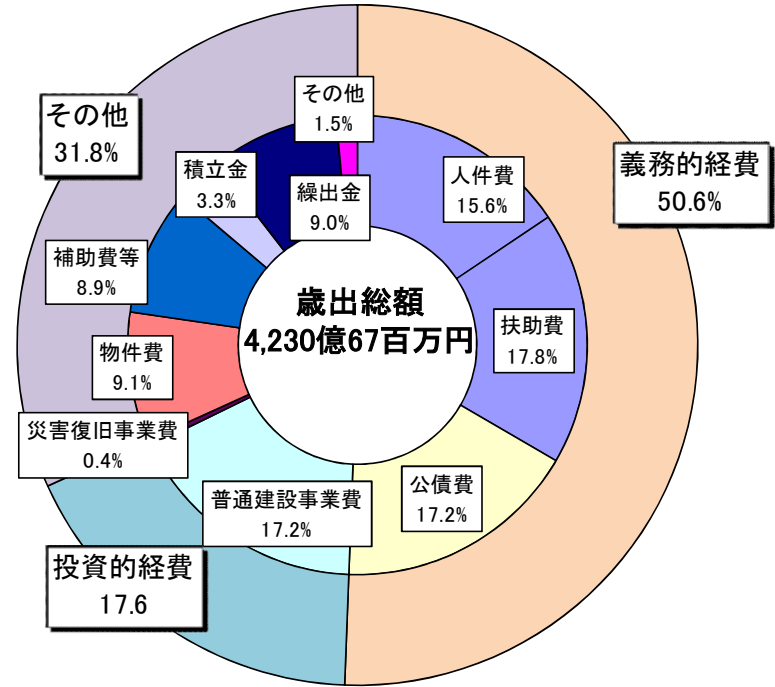
(単位: 百万円、%)

	22年度決算額						21年度決算額								
	市部		町村部		合計		市部		町村部		合計				
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率			
財政調整基金	1,032	70	7.2	2,393	800	50.2	3,424	869	34.0	962	▲ 14.8	1,593	5.6	2,555	▲ 3.1
減債基金	466	▲ 2,551	▲ 84.6	1,885	▲ 60	▲ 3.1	2,351	▲ 2,611	▲ 52.6	3,017	741.1	1,946	9.5	4,963	132.5
その他特定目的基金	2,971	▲ 1,971	▲ 39.9	5,385	1,643	43.9	8,355	▲ 328	▲ 3.8	4,942	52.6	3,741	35.8	8,683	44.8
合計	4,468	▲ 4,452	▲ 49.9	9,663	2,382	32.7	14,131	▲ 2,070	▲ 12.8	8,921	88.7	7,280	20.5	16,201	50.5

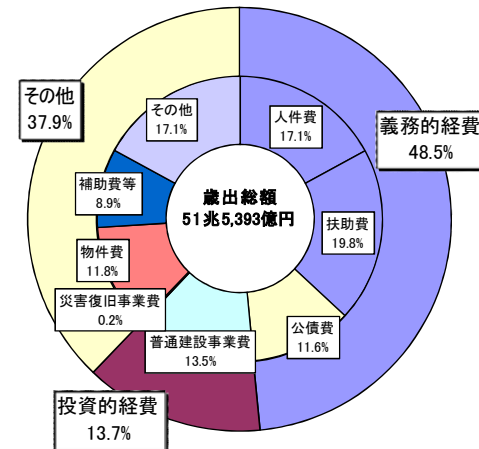
# 性質別歳出決算の推移



平成22年度県内市町村  
普通会計決算歳出性質別構成比



平成22年度全国市町村  
普通会計決算歳出性質別構成比



## (2) 目的別決算の状況

(単位百万円、%)

	平成22年度						平成21年度			
	決算額	構成比	増 減			全国決算		決算額	構成比	増減率
			増減額	増減率	構成比増減	構成比	増減率			
議会費	3,257	0.8	▲ 190	▲ 5.5	0.0			3,447	0.8	▲ 1.7
総務費	74,004	17.5	1,112	1.5	▲ 0.1	12.5	▲ 15.2	72,893	17.6	41.6
民生費	128,866	30.5	11,782	10.1	2.3	32.8	14.7	117,085	28.2	2.8
衛生費	28,991	6.9	▲ 3,177	▲ 9.9	▲ 0.9	8.4	▲ 0.3	32,168	7.8	13.6
労働費	3,395	0.8	1,445	74.1	0.3	0.6	30.4	1,950	0.5	763.7
農林水産業費	20,656	4.9	▲ 1,548	▲ 7.0	▲ 0.5	2.4	▲ 5.4	22,204	5.4	34.8
商工費	5,649	1.3	▲ 1,599	▲ 22.1	▲ 0.4	4.0	▲ 12.2	7,248	1.7	48.9
土木費	32,061	7.6	▲ 2,558	▲ 7.4	▲ 0.7	12.4	▲ 6.7	34,619	8.3	1.8
消防費	13,083	3.1	▲ 1,434	▲ 9.9	▲ 0.4	3.2	▲ 2.5	14,517	3.5	15.4
教育費	38,285	9.0	4,082	11.9	0.8	10.9	0.4	34,203	8.2	12.7
災害復旧費	1,697	0.4	▲ 20	▲ 1.1	0.0	0.2	28.0	1,717	0.4	▲ 34.1
公債費	72,881	17.2	332	0.5	▲ 0.3	11.6	▲ 1.5	72,549	17.5	0.0
その他	241	0.1	▲ 10	▲ 4.0	0.1	1.0	▲ 9.5	251	0.1	▲ 40.1
合 計	423,067	100.0	8,217	2.0	0.0	100.0	0.2	414,849	100.0	11.7

### ①総務費

定額給付金事業が終了する一方で、情報通信基盤整備事業が増加したことなどにより、総務管理費が8億19百万円増(1.3%増)となっている。また、国勢調査が実施されたことにより、統計調査費が1億89百万円増(9.5%増)となり、全体では、11億12百万円増(1.5%増)となっている。

### ②民生費

子ども手当が創設されたことなどが影響し、児童福祉費が73億25百万円増(20.3%増)、近年の不況の影響により生活保護費が22億26百万円増(7.8%増)となり、全体で117億82百万円増(10.1%増)となっている。

### ③衛生費

高知市の総合あんしんセンター整備事業(32億85百万円)が終了したことなどから、保健衛生費が28億17百万円減(16.0%減)となり、全体では31億77百万円減(9.9%減)となっている。

### ④労働費

国の雇用創出基金による事業の増などに伴い、労働費全体で14億45百万円増(74.1%増)となっている。

### ⑤農林水産業費

四万十市や四万十町の農地有効利用整備支援事業の終了などにより農地費が11億46百万円減(23.5%減)、黒潮町の入野漁港水産物供給基盤整備事業(4億35百万円)の終了などの影響により、水産業費は7億93百万円減(23.0%減)となり、全体では15億48百万円の減(7.0%減)となっている。

### ⑥商工費

地域の経済対策に資することなどを目的に実施した定額給付金事業の終了や貸付金の減などに伴い、15億99百万円減(22.1%減)となっている。

### ⑦教育費

耐震補強や増改築などに伴い、小学校費が7億24百万円増(8.0%増)、中学校費が40億75百万円増(79.2%増)となり、全体では40億82百万円増(11.9%増)となっている。

## 6. 積立金現在高の状況

財政調整的な基金(財政調整基金+減債基金)合計額は、65億90百万円増(13.3%増)で、560億18百万円となっている。また、その他特定目的基金を含めた積立金現在高は、117億50百万円増(10.6%増)となり、6年連続のプラスとなり、過去最大となった。

財政調整的な基金は、市部で26億62百万円増(14.1%増)、町村部では39億28百万円増(12.9%増)となっている。

その他特定目的基金は全体で51億60百万円増(8.4%増)となっている。

### 積立金現在高

(単位百万円、%)

	22年度末現在高									21年度末現在高					
	市部			町村部			合計			市部		町村部		合計	
	増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	
財政調整的な基金	21,591	2,662	14.1	34,428	3,928	12.9	56,018	6,590	13.3	18,929	16.0	30,500	13.6	49,428	14.5
財政調整基金	13,335	1,751	15.1	19,506	2,664	15.8	32,840	4,415	15.5	11,584	12.0	16,842	11.6	28,426	11.8
減債基金	8,256	911	12.4	14,922	1,264	9.3	23,178	2,175	10.4	7,345	22.9	13,658	16.1	21,003	18.4
その他特定目的基金	29,045	1,232	4.4	37,869	3,927	11.6	66,914	5,160	8.4	27,813	13.1	33,942	6.0	61,754	9.1
合計	50,636	3,894	8.3	72,297	7,855	12.2	122,932	11,750	10.6	46,741	14.3	64,441	9.5	111,183	11.4

### 積立金増減額比較表(21年度中増減・22年度中増減)

(単位百万円、%)

		財政調整基金		減債基金		財調+減債		その他特定目的基金		基金合計	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
21	市部	1,238	12.0	1,370	22.9	2,608	16.0	3,228	13.1	5,837	14.3
	町村部	1,757	11.6	1,898	16.1	3,654	13.6	1,911	6.0	5,565	9.5
	計	2,994	11.8	3,268	18.4	6,263	14.5	5,139	9.1	11,402	11.4
22	市部	1,751	15.1	911	12.4	2,662	14.1	1,232	4.4	3,894	8.3
	町村部	2,664	15.8	1,264	9.3	3,928	12.9	3,927	11.6	7,855	12.2
	計	4,415	15.5	2,175	10.4	6,590	13.3	5,160	8.4	11,750	10.6
差引	市部	513	3.1	▲459	▲10.5	54	▲1.9	▲1,996	▲8.7	▲1,943	▲6.0
	町村部	907	4.2	▲634	▲6.8	273	▲0.7	2,017	5.6	2,290	2.7
	計	1,420	3.7	▲1,093	▲8.0	327	▲1.2	21	▲0.7	348	▲0.8

## 市町村別積立金現在高

(単位:千円)

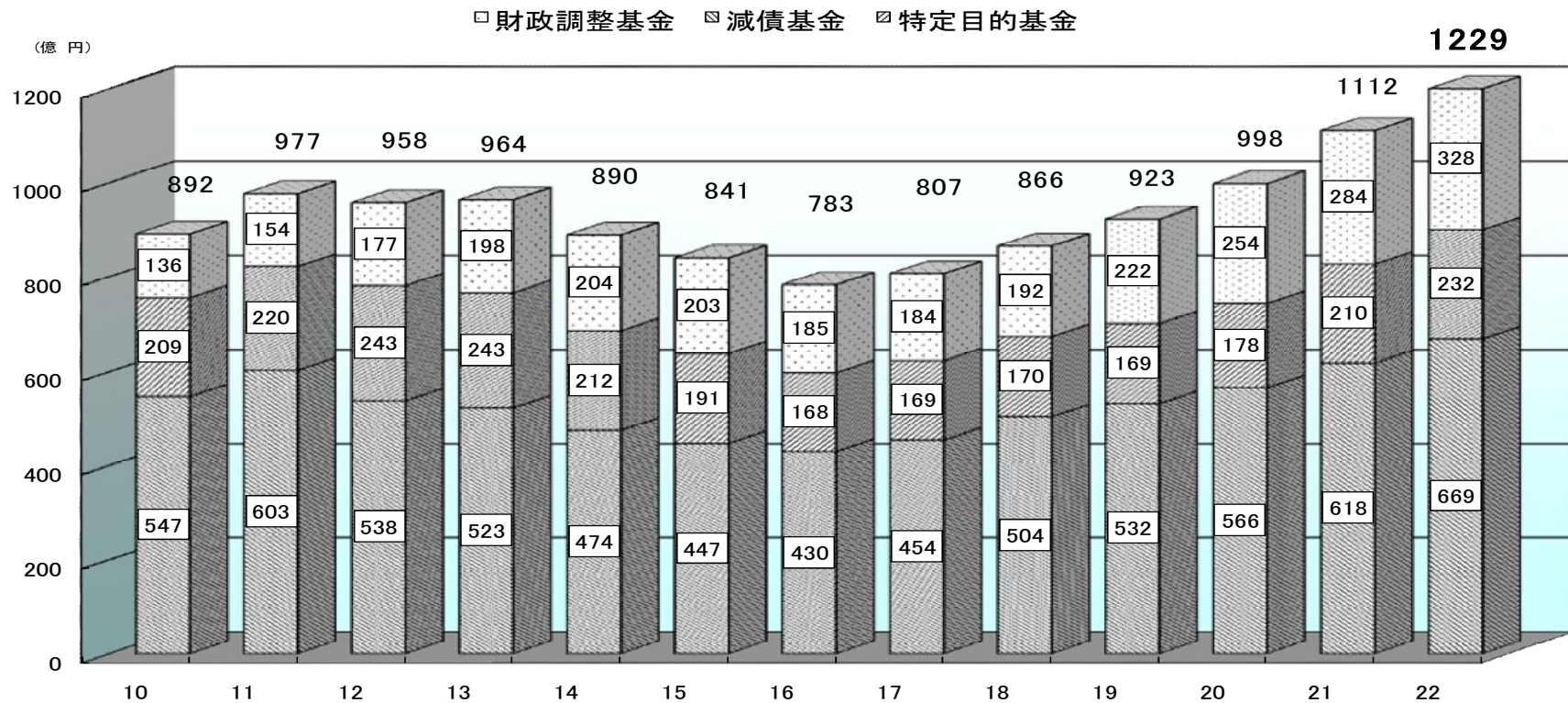
	財政調整的な基金			その他特定目的基金	合計
	財政調整基金	減債基金			
高知市	3,673,293	1,734,286	1,939,007	7,326,708	11,000,001
室戸市	980,167	642,763	337,404	352,431	1,332,598
安芸市	765,244	465,258	299,986	2,011,494	2,776,738
南国市	1,652,379	1,108,205	544,174	1,486,861	3,139,240
土佐市	2,891,545	1,396,214	1,495,331	4,206,660	7,098,205
須崎市	865,615	278,792	586,823	326,787	1,192,402
宿毛市	1,651,707	1,585,814	65,893	762,248	2,413,955
土佐清水市	682,680	677,297	5,383	551,695	1,234,375
四万十市	1,289,948	348,788	941,160	3,653,193	4,943,141
香南市	2,918,099	1,933,494	984,605	4,356,020	7,274,119
香美市	4,220,082	3,163,642	1,056,440	4,010,691	8,230,773
東洋町	316,340	274,240	42,100	423,236	739,576
奈半利町	859,662	704,140	155,522	1,667,658	2,527,320
田野町	844,408	222,675	621,733	1,698,360	2,542,768
安田町	1,221,554	370,169	851,385	1,328,174	2,549,728
北川村	721,039	492,500	228,539	916,006	1,637,045
馬路村	907,115	385,460	521,655	953,394	1,860,509
芸西村	747,427	411,222	336,205	1,804,747	2,552,174
本山町	1,122,000	996,000	126,000	644,000	1,766,000
大豊町	1,452,790	858,111	594,679	1,520,829	2,973,619
土佐町	1,452,475	861,695	590,780	547,204	1,999,679
大川村	428,348	376,504	51,844	265,231	693,579
いの町	2,715,457	388,190	2,327,267	5,828,703	8,544,160
仁淀川町	2,749,540	2,014,586	734,954	2,127,211	4,876,751
中土佐町	2,933,375	2,177,137	756,238	2,193,791	5,127,166
佐川町	2,596,243	2,159,183	437,060	778,377	3,374,620
越知町	916,156	479,167	436,989	564,843	1,480,999
橋原町	3,145,165	446,231	2,698,934	6,278,135	9,423,300
日高村	815,661	474,049	341,612	738,161	1,553,822
津野町	2,659,226	1,335,521	1,323,705	1,899,504	4,558,730
四万十町	2,466,595	1,777,139	689,456	2,778,073	5,244,668
大月町	784,032	500,495	283,537	154,753	938,785
三原村	1,001,340	746,232	255,108	500,356	1,501,696
黒潮町	1,571,594	1,054,972	516,622	2,258,432	3,830,026
市計	21,590,759	13,334,553	8,256,206	29,044,788	50,635,547
町村計	34,427,542	19,505,618	14,921,924	37,869,178	72,296,720
市町村計	56,018,301	32,840,171	23,178,130	66,913,966	122,932,267



## 積立金現在高の推移

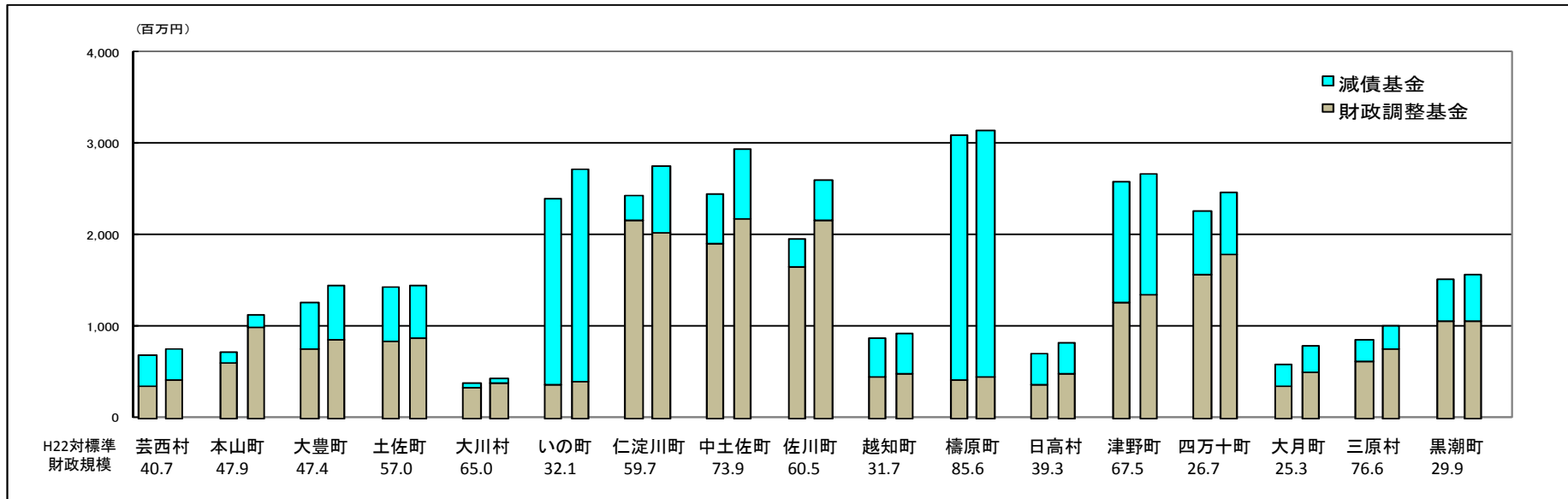
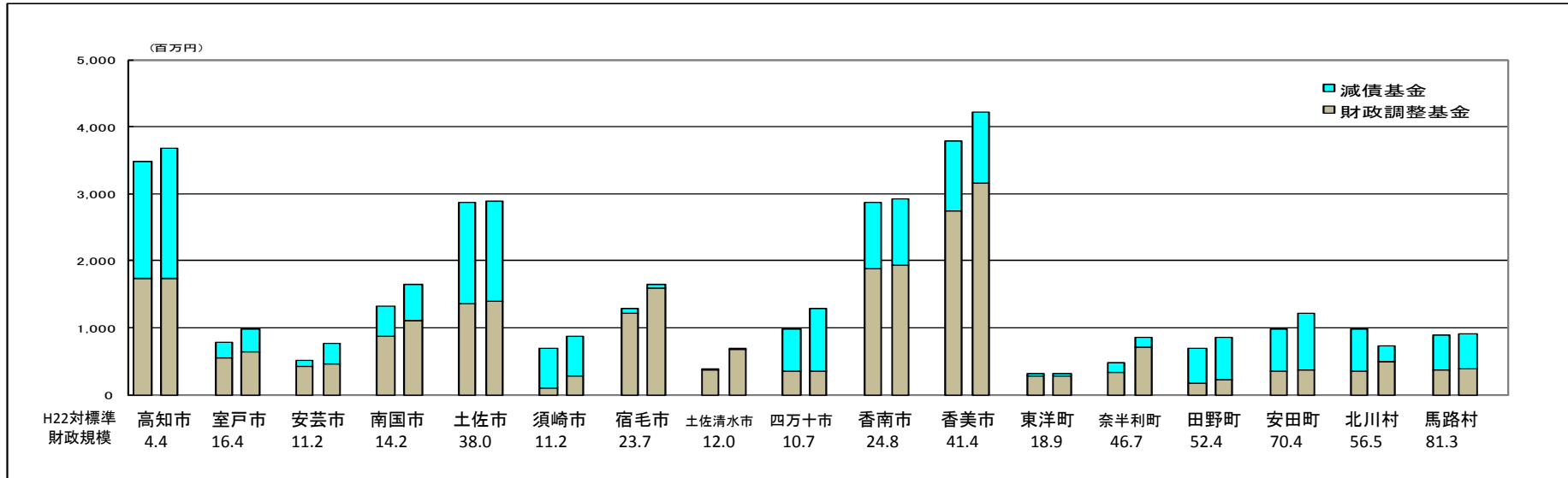
(単位百万円、%)

	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	残高	対前年増減率	残高	対前年増減率	残高	対前年増減率	残高	対前年増減率	残高	対前年増減率
財政調整的基金	36,186	2.5	39,100	8.1	43,165	10.4	49,428	14.5	56,018	13.3
財政調整基金	19,189	4.0	22,228	15.8	25,431	14.4	28,426	11.8	32,840	15.5
減債基金	16,997	0.8	16,872	▲ 0.7	17,734	5.1	21,003	18.4	23,178	10.4
その他特定目的基金	50,454	11.1	53,214	5.5	56,615	6.4	61,754	9.1	66,914	8.4
合 計	86,640	7.3	92,314	6.5	99,781	8.1	111,183	11.4	122,932	10.6



# 市町村別 財政調整的基金の残高の状況

(注) 左がH21末残高。右がH22末残高

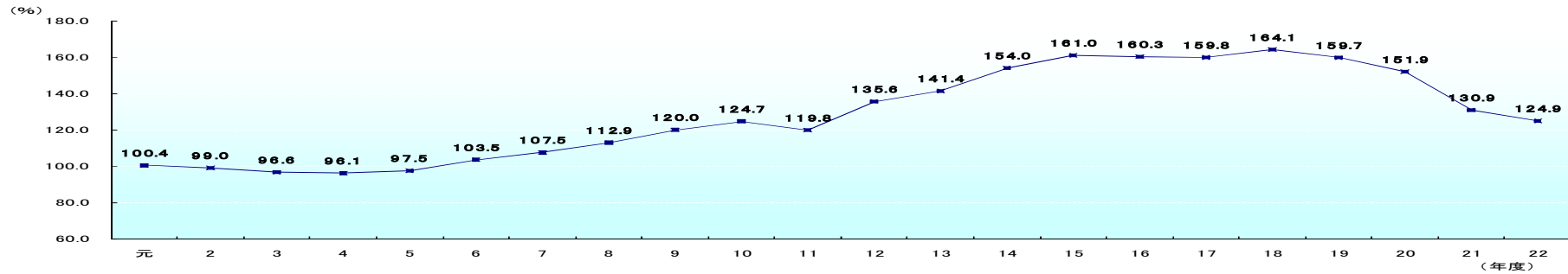




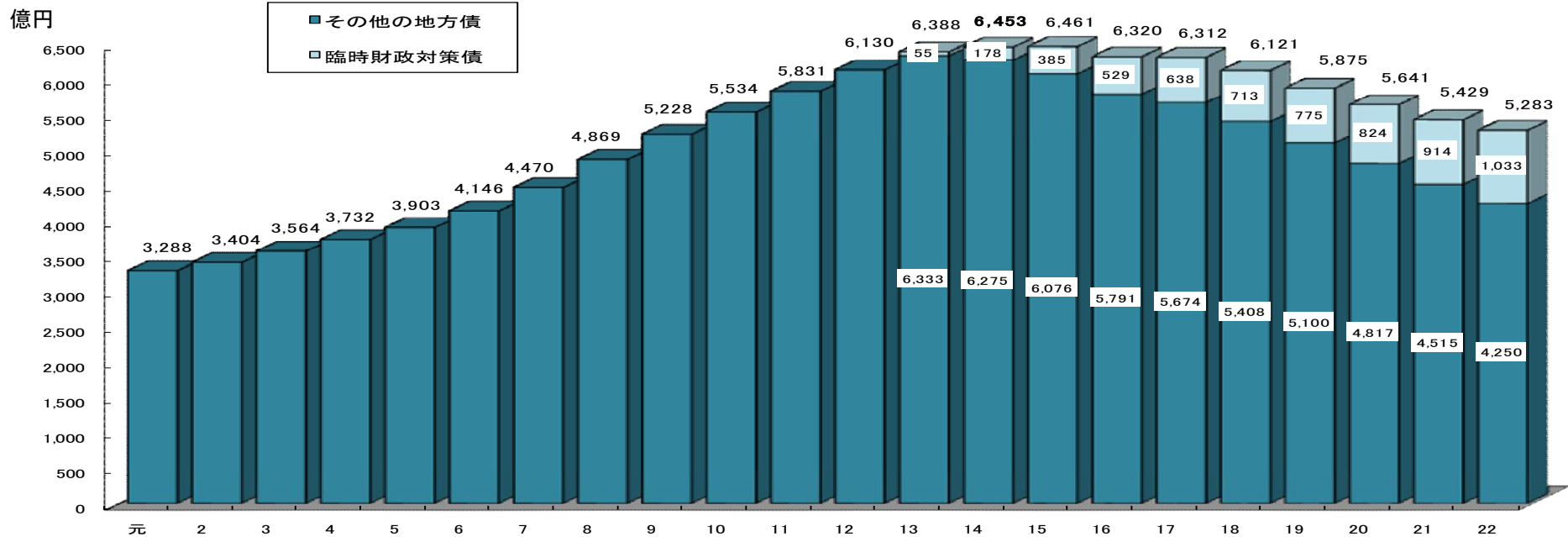
## 7. 地方債現在高の状況

地方債償還額は、639億59百万円と引き続き地方債発行額(493億51百万円)を上回る状況にあることから、地方債現在高は5,283億28百万円と、前年度から146億7百万円減(2.7%減)となり、7年連続マイナスとなっている。  
歳出総額に対する地方債残高の割合は、前年度を1.0ポイント下回り、124.9%となった。

地方債現在高の歳出総額に対する割合



地方債現在高の推移



## 8. 将来負担額等の状況

将来負担比率は、全国市町村平均では79.7%(前年度比13.1%減)となっているが、県内市町村平均は107.7%(前年度比26.4%減)となっている。

(単位:百万円)

	平成22年度	平成21年度	増減
将来負担額 A	771,118	805,288	▲ 34,170
地方債現在高	531,857	545,877	▲ 14,020
債務負担行為に基づく支出予定額	8,527	16,148	▲ 7,621
公営企業債等繰入見込額	126,216	131,170	▲ 4,954
組合等負担見込額	26,726	29,561	▲ 2,835
退職手当負担見込額	73,044	75,691	▲ 2,647
設立法人の負担額等負担見込額	2,777	3,054	▲ 277
連結実質赤字額	1,971	3,058	▲ 1,087
組合等連結実質赤字額負担見込額	0	729	▲ 729
充当可能財源等 B	557,489	550,974	6,515
充当可能基金	123,509	112,427	11,082
充当可能特定歳入	16,300	17,981	▲ 1,681
基準財政需要額算入見込額	417,680	420,566	▲ 2,886
差引(A-B) ①	213,629	254,314	▲ 40,685
標準財政規模 C	242,595	234,800	7,795
元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額 D	44,297	45,238	▲ 941
差引(C-D) ②	198,298	189,562	8,736
将来負担比率 ①/②	107.7%	134.1%	▲26.4%

## 9. 今後に向けて

### (1) 市町村財政の現状と見通し

県内市町村の重荷となってきた公債費の圧縮に取り組む中で、地方債の新規発行の抑制や繰上償還を実施してきた結果、地方債の残高は7年連続で減少した。なお、「実質公債費比率」については改善傾向にあるが、全国平均と比べて依然として高い数値で推移すると見込まれる。

財政収支の改善が図られ、財政構造が好転はしてきているが、産業基盤の脆弱さなどから地方税収入等の自主財源の増加は見込み難いうえ、高齢化の急速な進行により、社会保障関係費が引き続き増加する傾向にある。このため、今後も地方交付税による適切な財源保障・財源調整の役割はさらに重要なものとなってくると考えられる。

### (2) 今後の対応

本県の市町村は、自主財源に乏しく歳入に占める地方交付税の割合が特に大きく、今後の国の予算編成や地方財政対策の動向により、財政運営が大きく左右される状況にあることに変わりはない。

このため、地方六団体等、関係機関との連携などにより、条件不利地域としての厳しい県内の実情を訴え、地方交付税の総額の確保を求めていくと同時に、東日本大震災を教訓にした南海地震対策の抜本的強化・加速化、産業振興計画、日本一の健康長寿県構想、教育改革の推進などを通じ、地域課題への対応と安定的な財政運営の両立を図っていくことが求められる。

## ■平成22年普通会計決算見込み 各種財政指標市町村別一覧表

標準財政規模(単位:千円)

高知市	83,581,371
室戸市	5,966,814
安芸市	6,860,947
南国市	11,649,315
土佐市	7,605,074
須崎市	7,710,540
宿毛市	6,980,339
土佐清水市	5,677,191
四万十市	12,087,102
香南市	11,758,416
香美市	10,196,967
東洋町	1,674,462
奈半利町	1,840,325
田野町	1,610,578
安田町	1,736,249
北川村	1,275,723
馬路村	1,116,220
芸西村	1,837,071
本山町	2,344,041
大豊町	3,064,597
土佐町	2,549,297
大川村	659,438
いの町	8,457,546
仁淀川町	4,603,906
中土佐町	3,970,805
佐川町	4,290,026
越知町	2,893,958
梶原町	3,672,530
日高村	2,077,900
津野町	3,936,892
四万十町	9,237,605
大月町	3,101,916
三原村	1,308,015
黒潮町	5,262,106

財政力指数(3ヶ年平均)

1 高知市	0.58	
2 南国市	0.57	全0.53
3 いの町	0.39	
4 須崎市	0.38	
5 土佐市	0.36	
6 宿毛市	0.36	
7 四万十市	0.36	
8 香南市	0.36	
9 香美市	0.31	
10 佐川町	0.31	
11 安芸市	0.29	
12 日高村	0.27	
13 土佐清水市	0.25	県0.25
14 芸西村	0.25	
15 室戸市	0.23	
16 四万十町	0.23	
17 土佐町	0.22	
18 黒潮町	0.21	
19 田野町	0.19	
20 仁淀川町	0.19	
21 越知町	0.19	
22 北川村	0.18	
23 中土佐町	0.18	
24 奈半利町	0.17	
25 本山町	0.16	
26 大豊町	0.16	
27 津野町	0.16	
28 安田町	0.15	
29 馬路村	0.15	
30 大月町	0.14	
31 東洋町	0.13	
32 大川村	0.13	
33 三原村	0.11	
34 梶原町	0.10	

経常収支比率

1 梶原町	64.9	
2 津野町	65.4	
3 仁淀川町	74.9	
4 馬路村	76.0	
5 田野町	78.3	
6 芸西村	78.5	
7 北川村	80.4	
8 安田町	80.6	
9 土佐町	80.7	
10 本山町	81.9	
11 日高村	82.2	
12 三原村	82.8	
13 四万十町	83.4	
14 黒潮町	83.6	
15 中土佐町	83.8	
16 大月町	84.1	
17 香南市	84.3	
18 大豊町	84.5	
19 越知町	84.6	
20 大川村	84.7	
21 土佐市	85.2	
22 佐川町	86.0	
23 安芸市	86.4	
24 宿毛市	86.5	
25 南国市	86.7	県86.8
26 香美市	88.2	
27 奈半利町	88.2	
28 四万十市	88.6	
29 土佐清水市	89.5	全89.2
30 高知市	90.0	
31 いの町	90.9	
32 須崎市	91.2	
33 東洋町	92.0	
34 室戸市	95.5	

地方債現在高比率

1 北川村	108.6	
2 芸西村	130.6	
3 本山町	130.7	
4 佐川町	133.7	
5 東洋町	136.8	
6 土佐町	137.4	
7 梶原町	153.3	
8 津野町	153.7	
9 越知町	155.1	
10 いの町	157.9	
11 奈半利町	158.6	
12 南国市	160.5	
13 宿毛市	163.6	
14 日高村	167.5	
15 香南市	168.3	
16 大豊町	168.5	
17 田野町	170.1	
18 香美市	170.3	
19 土佐市	172.2	
20 仁淀川町	177.6	
21 三原村	177.8	
22 中土佐町	184.7	
23 安田町	187.8	
24 馬路村	190.9	
25 黒潮町	193.3	
26 大月町	194.1	
27 室戸市	199.1	
28 四万十町	212.5	
29 安芸市	216.9	県217.8
30 土佐清水市	219.8	
31 大川村	221.0	
32 四万十市	224.3	
33 須崎市	277.3	
34 高知市	284.2	

積立金現在高比率

1 梶原町	256.6	
2 馬路村	166.7	
3 田野町	157.9	
4 安田町	146.9	
5 芸西村	138.9	
6 奈半利町	137.3	
7 中土佐町	129.1	
8 北川村	128.3	
9 津野町	115.8	
10 三原村	114.8	
11 仁淀川町	105.9	
12 大川村	105.2	
13 いの町	101.0	
14 大豊町	97.0	
15 土佐市	93.3	
16 香美市	80.7	
17 佐川町	78.7	
18 土佐町	78.4	
19 本山町	75.3	
20 日高村	74.8	
21 黒潮町	72.8	
22 香南市	61.9	
23 四万十町	56.8	
24 越知町	51.2	県50.7
25 東洋町	44.2	
26 四万十市	40.9	
27 安芸市	40.5	
28 宿毛市	34.6	
29 大月町	30.3	
30 南国市	26.9	
31 室戸市	22.3	
32 土佐清水市	21.7	
33 須崎市	15.5	
34 高知市	13.2	

(注1) 県: 県内市町村平均、全: 全国平均(いずれも財政力指数は単純平均、その他の指数は加重平均)

(注2) 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定されたものである。

■平成22年普通会計決算見込み 各種財政指標市町村別一覧表

実質公債費比率 (3ヶ年平均)			実質赤字比率			連結実質赤字比率			将来負担比率		
1	津野町	2.5	1	大月町	-11.56	1	土佐市	-31.75	1	梶原町	-276.0
2	梶原町	6.8	2	香美市	-10.28	2	本山町	-20.94	2	北川村	-159.7
3	田野町	7.4	3	芸西村	-9.70	3	佐川町	-20.88	3	奈半利町	-130.3
4	北川村	9.6	4	四万十町	-6.88	4	いの町	-19.94	4	馬路村	-124.9
5	土佐市	10.2	5	香南市	-6.81	5	香美市	-15.39	5	津野町	-108.8
6	仁淀川町	10.6	6	中土佐町	-6.68	6	梶原町	-14.78	6	田野町	-102.4
7	大川村	10.7	7	黒潮町	-6.45	7	土佐清水市	-14.61	7	安田町	-74.7
8	馬路村	10.9	8	本山町	-6.18	8	黒潮町	-14.49	8	中土佐町	-73.7
9	中土佐町	11.6	9	大川村	-5.95	9	大月町	-13.06	9	仁淀川町	-57.8
10	越知町	11.7	10	安田町	-5.88	10	四万十町	-11.67	10	芸西村	-45.6
11	大豊町	12.2	11	土佐清水市	-5.48	11	香南市	-10.57	11	大川村	-30.0
12	黒潮町	12.5	12	馬路村	-5.33	12	芸西村	-10.36	12	大豊町	-24.8
13	大月町	12.6	13	大豊町	-5.30	13	南国市	-9.25	13	佐川町	-21.4
14	土佐町	12.7	14	佐川町	-5.07	14	大川村	-8.79	14	いの町	-2.9
15	奈半利町	12.8	15	田野町	-4.92	15	越知町	-8.61	15	日高村	-0.1
16	香美市	13.1	16	越知町	-4.51	16	須崎市	-7.97	16	三原村	5.2
17	日高村	13.3	17	土佐町	-4.07	17	宿毛市	-7.85	17	土佐町	13.2
18	芸西村	13.7	18	南国市	-3.95	18	中土佐町	-7.11	18	土佐市	19.4
19	四万十町	14.0	19	仁淀川町	-3.84	19	安田町	-6.55	19	香美市	30.7
20	東洋町	14.3	20	三原村	-3.77	20	大豊町	-6.29	20	本山町	31.2
21	本山町	15.6	21	北川村	-3.75	21	馬路村	-5.70	21	越知町	32.5
22	いの町	15.7	22	いの町	-3.55	22	田野町	-5.07	22	東洋町	44.0
23	佐川町	15.8	23	室戸市	-3.34	23	土佐町	-5.04	23	香南市	45.7
24	南国市	16.3	24	須崎市	-3.24	24	三原村	-4.51	24	黒潮町	47.1
25	四万十市	17.0	25	奈半利町	-3.07	25	仁淀川町	-4.27	25	四万十町	54.8
26	安田町	17.8	26	東洋町	-2.98	26	北川村	-4.08	26	南国市	86.3
27	土佐清水市	18.4	27	津野町	-2.96	27	奈半利町	-3.96	27	大月町	106.4
28	香南市	18.4	28	宿毛市	-2.90	28	東洋町	-3.72	28	室戸市	137.5
29	三原村	18.5	29	梶原町	-2.84	29	日高村	-3.69	29	四万十市	148.6
30	高知市	19.2	30	日高村	-2.53	30	津野町	-3.47	30	土佐清水市	152.4
31	室戸市	19.5	31	四万十市	-1.96	31	安芸市	-3.33	31	安芸市	162.2
32	宿毛市	19.5	32	安芸市	-1.49	32	四万十市	-0.55	32	宿毛市	166.3
33	安芸市	21.0	33	土佐市	-0.94	33	高知市	1.98	33	須崎市	213.4
34	須崎市	21.0	34	高知市	-0.56	34	室戸市	5.16	34	高知市	223.7

全10.5

県16.5

県-3.26

県-5.97

全79.7

県107.7

## 財政指標等の説明

### ○実質収支

歳入決算額から、歳出決算額を単純に差し引いた額(形式収支)から、翌年度への繰越財源(継続費の通時繰越[執行残額]、繰越明許費繰越等に伴い翌年度へ繰り越すべき財源)を差し引いたもの。歳入の中には前年度の実質収支が繰越金として含まれているため、実質収支には過去からの収支の赤字・黒字要素が含まれている。

### ○実質単年度収支

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額(単年度収支【実質収支は前年度以前からの収支の累積であるので、その影響を控除したもの】)から、実質的な赤字要素【財政調整基金の取り崩し】や黒字要素【財政調整積立金・地方債繰上償還】を加減したもの。当該年度だけの実質的な収支を把握するための指標。

### ○経常収支比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費や維持補修費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。

### ○実質公債費比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営事業債に対する繰出し金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額(普通交付税が措置されるものを除く)に充当されたものの占める割合。(前3年度の平均値)

### ○地方債現在高比率

起債により借入している金額(借入金残高)の標準財政規模に対する割合。

### ○積立金現在高比率

各種基金に積み立てている金額(基金残高)の標準財政規模に対する割合。

### ○将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模(元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を除く)に対する比率。

### ○標準財政規模

自治体が標準的な行政を行う場合に必要な一般財源の総額(一般財政の標準規模)で、普通交付税と標準的な収入の合算値